

廣益沈錦抄

十四

卷之十四

藥草名
二十四種
花形圖并
色付

		二		和	
内閣文庫					
番號	和	27737			
冊數	20 (15)				
函號	199	380			



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM Kodak



廣益地綿抄卷之六

目錄

黃犯地丁	白菀	策車	野薄荷	防風 二種	王不留行
鬼滅草	返魂草	半高	百脈根	荊芥	胡蘆巴
東風菜	菡萏	扁特	毛茛	玄參	海
體腸	及巳	紫苑	羅勒	川芎	薄荷

本草二十三種

卷之六

蓮翹單蓮
龍葵
龍珠
石龍芮
七連菜
薺蓋
薺蓋
薺蓋
薺蓋
薺蓋
薺蓋

王不肖乃
胃をふさぐ花は花
て小のんうすひさ
さるを殺すとへし
花の枝を乃らぐ
薺は包のみとく
乃らうあり又あり
とす終りの口ふ
子心実黒く丸
あくとる花は

胡蘆巴
二月と花と
三四月と花と
さく花はさけ乃
花乃びとく也
さげのさくも
とびさ草と花と
あひさく
字人と花
新ふ極
十月と花と
花と

わりの八九月小まきを
乃うら苗云くりて
月とふさば月指る
和母 宿根よりまき生
此灸あざやふまき
あうあま花形極の
とくにかぐくのひ豆
花乃色うと葉之
月ふさく又七月の
しつわも物進し九
月まき花さたふ

中白う魚介
川草 宿根よりまき
葉さらのひ後乃ま
秋白花さく時珍の胡
荽よりぬりてのふみ
とく胡荽より葉あ
はるる葉ふあふ
ふく葉乃初氣
ありて一葉う白るふ
をくつゆふ不沙風
すは叶をかや

わくをと葉の
備りし似そりのやま
高湯が泉進乃とく
とよを花状あや
い草人乃ふあや
とさうふあやと葉と
かつまはぬあやと
花のそりなふあや
新あや魚ていさふ

葉のよさふあや
ふく植てかや
防風 葉の何れとあり
葉物葉にゆふ
切とあると葉や
あうとひ葉の切と
ありくと一せりまん
葉は葉乃とくあ
去葉防風とひや
又葉乃切込あり
葉ひつさたふ

荊芥

葉をそまき切
まうらふ

ありしは葉根を
 取り花を及ぶふか
 し根葉をむくふ九
 多く二月前へ一五
 葉を根へ冬移す
 玄参 宿根より玄生
 葉根より玄生
 取附小付葉方より
 花ハ根乃ぶくくわく
 葉小むくく花七ハ
 月移しく葉とむく
 したるすのむくく

三
 漢防風とく小中まり
 いづれと死な葉根
 まをさく白く根を
 かやく付くより多く
 二月前花根小移す
 かかりあり
 薄荷 宿根より玄生
 又そのよと附て
 うくふ出くくく
 取附小付葉方より
 花ハ根乃ぶくくわく
 葉小むくく花七ハ
 月移しく葉とむく
 したるすのむくく

又一枝五枝状同く
 花乃及くと葉をす
 あり茎をさす
 百脉根 葉ハ蕪乃る
 り移くらのさく
 云がく付をさす多
 しく花根さくけの花
 のぶくくうん久花
 く付田八月ふくく花
 葉をありしくくわ
 多しと実ハさくけの
 くとめて一五く花

あり葉のりくく
 枝多くある葉葉
 花さくく付くく小
 細乃く小ありし葉
 茎よ香葉をさす
 まく切葉を香葉と
 ほか又中葉をさす
 花をさくくくく
 葉乃くくくくく
 葉あり宿根より多
 生ハ中葉をさす
 去去ゆくくや香気

は実と入目乃どと
砂ととりて目此業
すのりと云信り目帯
ともひ小葉うそあ
らしく神又うへて遷
る一庭より種てあめ
葉をせり

牛扁 右根よりまき
道色重ふま

あり信りまらまらま
九又けん乃せうこを
七八月又花うく花を

にう包を小植てあめ
あり根を葉葉あり
信り種ひくされと云
は根の衣の保ゆし用
て又これ業保とある
ぞぞ

扁特 右根よりまき

葉又四辺多のまきこ
あり花は梅花乃ど
くすれん葉花よんを
梅花草とも梅が葉

梅乃花のどく小らん
うと向くさうあり
葉を石抄苗あり
本単小知葉花とひ
くとは扁特より入

業苑 右根よりまき
葉大さく枇杷

乃葉のよくやくま
初生地又葉中より葉
直とく六七尺までのひ
むひくされ又ひく
れおく多く知りま

葉もも六七月ひ
くすすひくされ色也
花中ふこひくされ乃
葉ありをふひくさき
起すり花種よんて
うしありひくされ

白苑 右根より春生

葉ももとんり
うひくされとんり
初生地中葉葉
て五六尺までのひ

かろ免あり花僅小極

岩根いんこん

岩根よりまき

此草も葉に白くまき

草のぶくまありてあ

わふと茎六七尺のひ

ふと乃形物ぎやうぶつなり

月かそれひくふと

少とる一む黄色を

れとく又出するま

りのさくあひと一木

まふとん乃ましく

て白くまんと同附

に印く花草之植て

あがあまの又一種小

んとま葉あり花極

小まん白く葉直葉

ふとん此ふくふて小

葉より二尺をりのひ

直花僅りうへてあ

らしく岩根よりま

らしく岩根よりま

らしく岩根よりま

らしく岩根よりま

らしく岩根よりま

草釋名に返龜草あり

同葉解小葉花白葉

大明が黄白葉花とひ

くといへり花黄也

をハ草

及がうい 岩根よりま

草より三四寸

せ物く白花むのやく

にふべなり咲葉花

まふとん乃ましく

らしく岩根よりま

らしく岩根よりま

る小多の以倍小

この小田中乃ま

る民倍病疾と

内い葉と湯ひ

け小煮くを

ゆり園子

食甚妙あり

黄わう花地ち下

花黄色

六七月はひ

たまのあり

くく大さく

らふありて実ハ紫の方
 より下へさかりて付る
 又二粒有り取州同一
 常作て多き二月後
 小のび立ち有り二月
 草をさすありて二月
 にくちてかぶる二月
 小花さく根ハ細辛乃
 びとくにりそく香氣
 あり

鬼鍼草

花黄色八月
 生葉に切

二三尺ふのび立ち
 花多くさく葉は
 あり根おほく如く花
 さく花をわして細毛
 と有り根ふさびある
 白毛と有りて種は
 四月終ありて生る葉
 とは地をへおけ
 田跡ふ多く生れ冬
 葉を去てまき

東風菜

宿根あり葉
 生花若くは青

花を採の木は葉ふゆり
 花を採も花と有り
 ちやうくかきあり
 落葉乃後実をて
 四方へまれば汁のどく
 汁乃末ニツふられて
 澱のぶくく人飲ま丸
 汁汁と有りて去根
 にく生え

此は下りてひく葉
 乃先ひゆく末葉を
 苗の時花をほく種
 と種をさすくのび立
 て起ハ葉はうらふ葉
 葉を去てまき
 花細くわたり又白
 毛と有り葉は若葉
 乃おとく種ふさび去
 二月末に花は多く
 てありあり種は
 び布をたれり中たれ



胡蘆巴 ころし

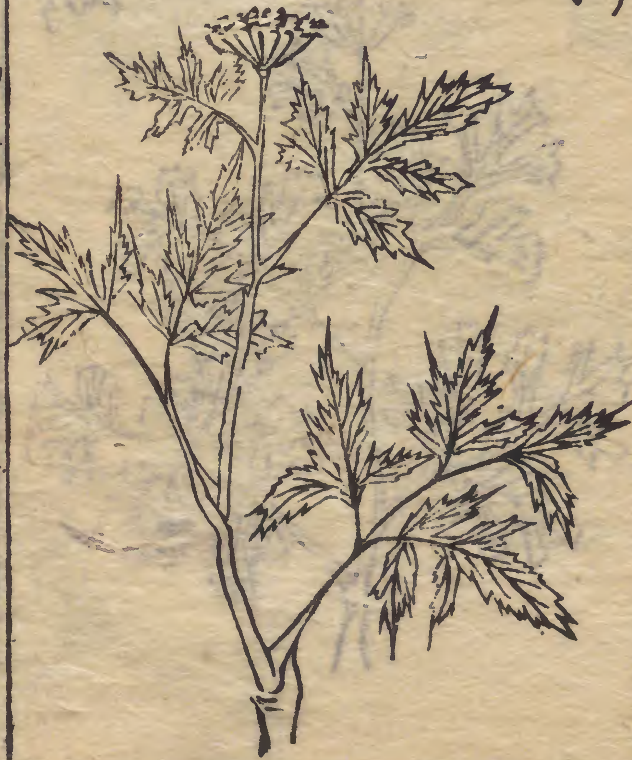
卷十



王不留行 まじろ

卷十

川芎
せんきう



和母
わぼ





失防風 をらりやう



防風 ぼうふう



玄參
げんざん



荆芥
けいがい

野の
薄荷



薄荷



毛茛
モウリョウ



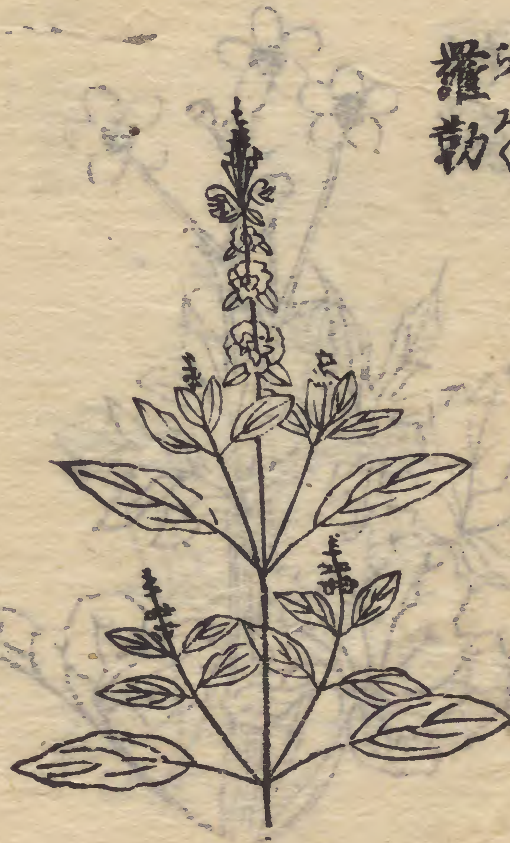
百脉根
ヒャクマツネ



紫草



羅勒



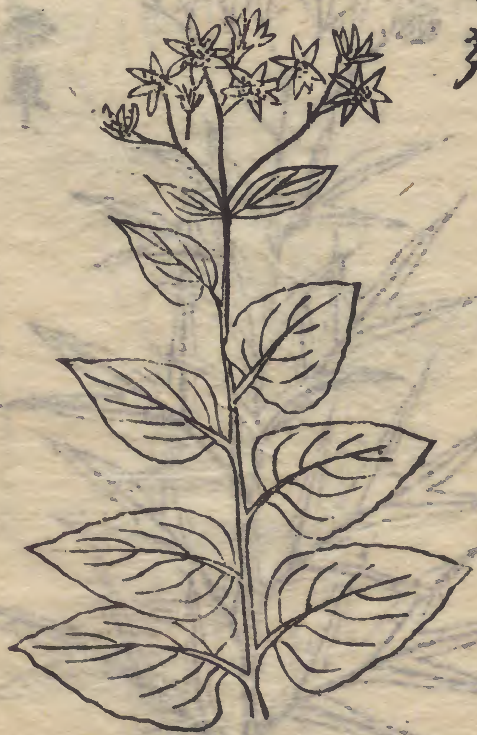
配特



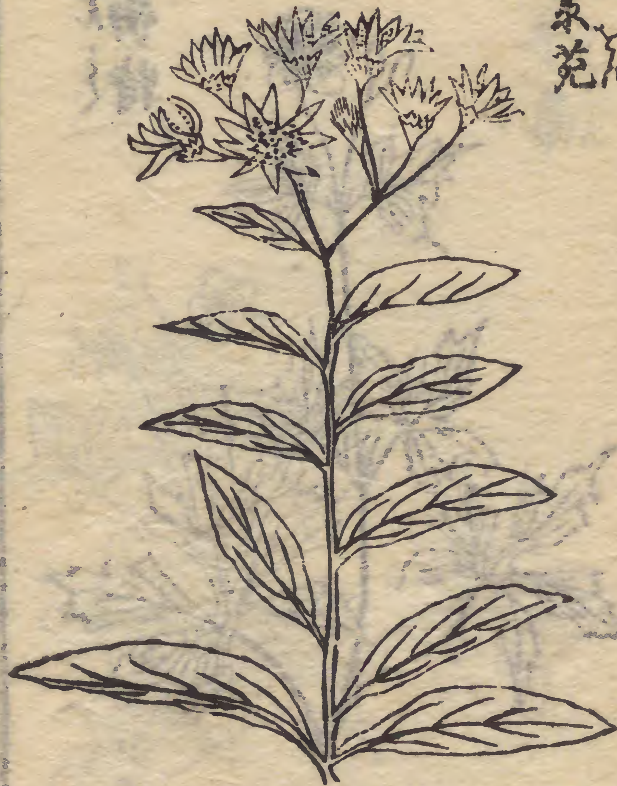
牛扇 ぎゆうせん



白苑



紫苑



及巴アヲイ



大ノ圖
多ク二尺余

小ノ圖
多ク四寸許

花の邊
花の内葉
有る花
乃ほ葉
也

辺エド魂草エドコウソウ





黄
花
地
丁



葛
藟



東風菜
とうふうさい

卷十四

七

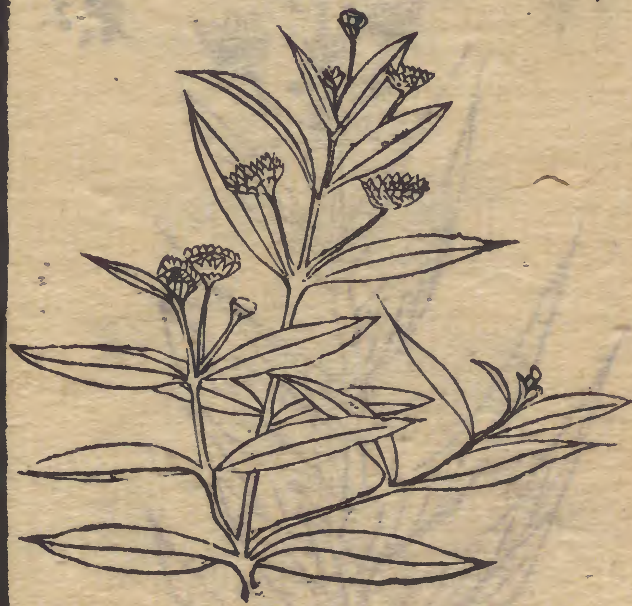


鬼針草
おにばら

卷十四

八

良子
鱧腸



生ん
蓮翹
早蓮



又一種
龍葵 ハハカサ



龍葵 ハハカサ





紗株

卷十四

九



毛蓮菜

卷十四

九

野の雜んとう改



卷十四

五

青あお箱あき子



卷十四

四



紫萼むらさき

紫萼

紫萼



薔薇むらさき

薔薇

薔薇

薔薇



藜蘆



石鈔茵

龍葵

二月より生葉
 のかへし花子
 一、似くらのさ葉
 乃延長く白花又出
 黄蕊をり丸く実
 とじとぶ一所八九粒
 作とづ付く実の又
 まくほふさむくして
 葉一枝おろく出葉去
 かり葉はるくより下
 へさぐ家
 ○又一種葉大く実

薺菜仁

葉もく葉乃中
 節六く葉りく
 けうさた久たり一
 莖よ一とらつあり
 七月の比中より一
 尺ほど小葉より一
 びく黄花とひくく
 菊乃おとくおがめ
 田中乃おふ多き花
 鹽より種てもとへ
 菜より葉れ
 と小葉葉

龍珠

二月苗生葉直
 葉れともは葉
 乃類草より実丸く
 初まく後まくして

青箱子

二月種と葉菜
 直苗葉雞卵
 らがひ叶一はるか推
 のぶくくにさぐりく
 百ふ一つとみくまら

和く愛とて一葉
 かほくさうりて種葵
 此とく倍みひよとり
 じやうごといひの非也
 ひよとりじやうごを
 蔓草少く白英と
 形り実乃くさうり実を
 にくく似る吹ひよとり
 べし花煙みうへくか
 があし
 藤蓋 宿根より葉也
 葉ハ紫葉白

花か一花さかより
 下ハうと白くと葉を
 葉紅也すり実もけ
 いどうに同一花さく
 じやうごは時々の時珠
 が苗葉花実雜以と
 一振五別花種とて
 又すれ鬼尾乃と
 さいるりいやへより
 花煙み種くかあし
 せりの又一種倍よ野
 雜以といふ田野子

葉小似るれ七日光
 葉とよ日光小小に
 ありあし一花の葉
 葉小似るれ花の葉
 葉葉の丁子改の
 とく種と切ており
 七れさく六七月の
 く花煙よりう魚か
 がああり根元去中
 ありまをろれ處乃
 ぶくすれ毛減り
 ぶりてさるそひ瓜

おりあり葉とけ
 いとうにゆるが葉
 あり花ゆるがなる
 いゆるりてはまを
 おとりよるまを白
 花すれをあり花煙
 けう魚とく愛とへ
 七八月とわさく花れ
 とけいとうとちか
 ありて見れまを
 本草に上紅下白と
 あり花乃まをりて

とりあつて二月ま



くまのいすれを安に
てはまへふと早まの
かり是を修り
箱より

庫 文 閣 内			
一 九 函	二 七 三 七		和 書
一 八	二 〇		
架	冊	號	類